

第2章 地域の概況

第2章 地域の概況

1 地域の概要

計画地の位置する佐久市は図2.1-1に示すとおり、長野県の東部に位置し、計画地は、北佐久郡御代田町に近接し、同郡軽井沢町にも近接して位置する。

佐久市は豊かな自然環境、生物多様性を有しており、北に浅間山、南に八ヶ岳連峰を望み、蓼科山・双子山、荒船山に囲まれ、千曲川の支流である湯川が、北東の軽井沢町から南西へ流下し、千曲川と合流する。

平成17年4月1日、旧佐久市・臼田町・浅科村・望月町が合併して、10万都市「新佐久市」が誕生し、その総面積は423.51km²（平成31年4月現在）となった。

気候は、典型的な内陸性気候を示す高燥冷涼地であるため、気温の較差が大きく、降水量は少ない。年間を通して晴天が多く、国内でも有数の日照時間が多い地域となっている。

計画地及びその周辺は主に山林に囲まれており、近くには東地地区がある。東地地区の南側には信濃川水系である香坂川が西流しており、その下流側には水害や水不足から保護する農地防災ダムとして、香坂ダムが設置されている。

主要交通は、首都圏との交通の要となる高速自動車国道関越自動車道上越線（以下「上信越自動車道」という。）があるほか、一般国道141号及び254号が通っている。また、高速自動車国道中部横断自動車道（以下「中部横断自動車道」という。）が、平成23年3月には佐久小諸JCT から佐久南ICまでの区間で開通し、平成30年4月には佐久南ICから八千穂高原ICまでの区間で開通している。鉄道は、北陸新幹線やしなの鉄道、JR小海線（八ヶ岳高原線）が通っている。

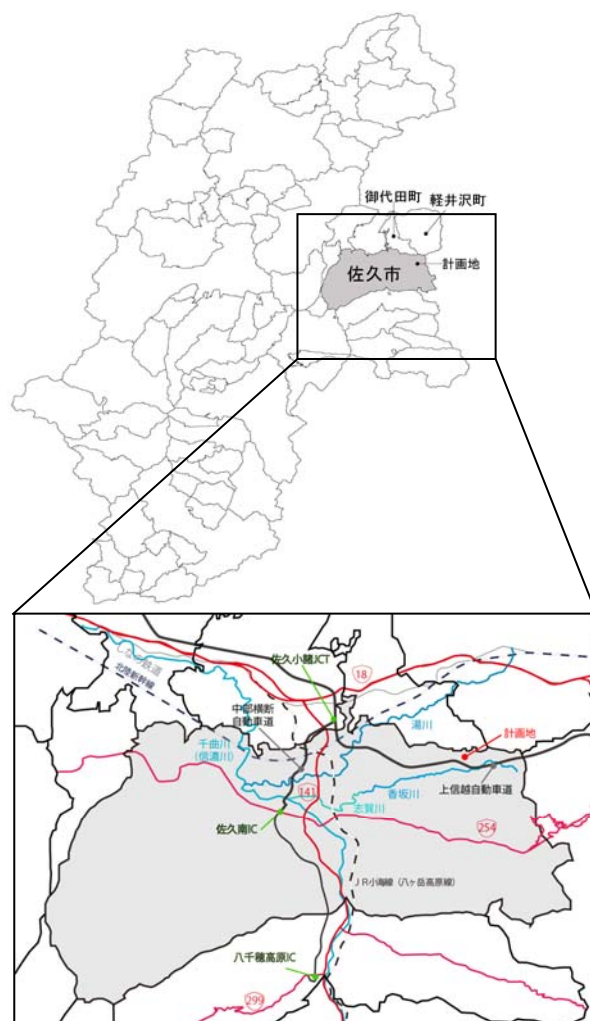


図2.1-1 長野県における佐久市と計画地の位置図